

JCN日野ケーブルテレビ 番組審議会議事録

開催日時

平成 23 年 2 月 25 日 (金) 16:30-18:00

場所

JCN日野ケーブルテレビ 会議室

出席者

番組審議会 : 市川委員、荻原委員、鷹取委員、谷委員、中嶋委員、土方委員、金子委員

欠席 : 松本委員

会社代表 : 宮崎社長 (新任)、櫻井取締役 (事務局 放送部室橋)

JCN代表 : 東京西エリア制作室清田室長

配布資料

- 1) 加入世帯数の現状と今後の営業方針
- 2) コミュニティーチャンネル「JCNプラスチャンネル」について
- 3) 多チャンネルサービスについて
- 4) VOD (ビデオ・オン・デマンド) サービスについて
- 5) 会員誌「plus」3月号
- 6) フリーペーパー「Hino Voice」3月号

本議題に入る前に、櫻井取締役より、本日のスケジュールと、欠席者 1 名が伝えられた。

社長挨拶および加入世帯数の現状と今後の営業方針

新任、社長宮崎良修より、ケーブルテレビ放送の発展と普及に日頃からご支援を頂いている委員の皆様へ感謝の言葉が述べられ、自己紹介として、昨年 6 月より JCN日野社長に就任したことが話された。

まず始めに、資料 1 を元に、会社概要として、2007 年 11 月、株主欄にあるジャパンケーブルネット (株) のグループに加入、グループ局 19 局の 1 つとして業務を行っていることが説明された。

次に、JCNグループ全体として掲げている、JCNグループフィロソフィー「私たちは地域の喜びと豊かさの創造に貢献します」を紹介、これに基づいてお客様に「あんしん」「たのしみ」「べんり」をお届けし、地域社会の活性化に貢献したいと説明された。

続いて、事業概要として、現在行っている放送サービス (多チャンネル、再送信、付加サービス)、通信、電話、携帯電話販売に加え、新しく放送付加サービスとして「VODサービス」が 2010 年 12 月より開始され、その他、au携帯とケーブルプラス電話同士の無料通話サービスがあることが報告された。

加入世帯数の推移として、サービス対象世帯数 (これをホームパスと呼んでいる) 78,954 世帯の内、2011 年 1 月末現在、多チャンネルサービス 24,045 世帯加入で、加入率 30.5%と、JCNグループ 19 局中 2 位の高加入率であること、電波障害、共聴再送信を含めると接続率 83.2%となっていること、更にインターネットにおいては、18,659 世帯加入、加入率 23.6%で、JCNグループ 19 局中 1 位、電話サービスについても、グループ 19 局中 1 位と、日野市の加入率が高いことが報告された。

最後に、今後の営業方針として、お客様満足度向上のため、インターネット無料訪問設定など、お客様サポートサービスの強化、充実に努めていること、ニーズへの対応として、オプションチャンネルの充実や、好きな映像を好きな時間に視聴できる「VODサービス」を開始したこと、また、美しい映像をお客様に提供するHD（ハイビジョン）化が全体的に進んでいることが話された。

その他、お客様参加型イベントとして、ゴルフ大会、囲碁大会、クイズ大会、クラシックコンサートご招待など、お客様への利益還元を行っていることが報告された。

地域社会活性化のため、デイリーニュース、スーパーなわとびすと選手権など地域情報の他、「産業まつり」「新選組まつり」など市内のお祭りや、Jリーグ東京ヴェルディとの共催事業、地上デジタル対策のための「デジタル相談室」設置、日野市が提唱している「ふだん着でCO2をへらそう」事業の参加などを行っていることが話された。

コミュニティーチャンネル「JCNプラスチャンネル」について

次に、櫻井取締役より資料2を元に、コミュニティーチャンネル「JCNプラスチャンネル」の今年度の概要が説明された。

現在自主放送レギュラー番組が8本あり、それぞれの番組の内容と特徴が説明された。

特別イベントとして、前年度2月の「日野市議会議員選挙開票速報」、4月の「ひのっ子シェフコンテスト」、5月の「ひの新選組まつり」、7月の「高校野球西東京大会生放送」は、八王子テレメディア、マイテレビ、JCN武蔵野三鷹、JCN中野を合わせ、5局連携で同時生放送を行ったこと、またその地域で行われた他球場の試合の様子を含めた「西東京大会ダイジェスト」を取材、その日に放送し、好評を得たことが報告された。

その他、8月の「よさこい祭りダイジェスト」、9月の「八坂神社例大祭宮神輿渡御礼ダイジェスト」、10月の「東京光の家正秋バンドチャリティーコンサート」全編収録・放送、地デジ11chにちなんで、11月1日を「JCNプラスチャンネルの日」と定め、プレゼントキャンペーンを行ったこと、12月、毎年恒例の「もしもしクイズ でんわdeゲット!!」では、15賞品を用意し、353世帯の参加応募があったことが報告された。

また、八王子テレメディア、マイテレビ、JCN武蔵野三鷹、JCN中野と当社の5局を「東京西エリア」とし、5局共通で放送しているお店紹介番組、散策番組、小学生対象の大縄跳び選手権など5番組を紹介、また、JCN本社で制作している加入者支援番組「ハッピーラボ」など、3番組が紹介された。

多チャンネルサービスについて

引き続き、櫻井取締役より資料3を元に、2010年10月からのチャンネルラインナップ改編が説明された。

1)「デジマックス（基本CS49ch内HD7ch）」が、50ch、内HD25ch、「デジエース（37ch内HD7ch）」が、38ch、内HD23ch、「デジスタ（31ch内HD0ch）」が、32ch、内HD1chに増チャンネル、増HDチャンネルとなった。

2)2010年10月から開始のHDチャンネルのラインナップは、基本チャンネルに「ジャパネットチャンネルDXハイビジョン」、その他スポーツ、ドラマなど15chがHD化した。オプションチャンネルでは、グリーンチャンネルが2chHDとなった。

VOD（ビデオ・オン・デマンド）サービスについて

1) VODサービスの説明と、現在選べる3つのコンテンツ（ムービースプラッシュVOD、NHKオン

デマンド、JCNプラスビデオ)の料金体系と特長が説明された。

番組審議委員より質問、番組に関するご意見、アドバイス

荻原委員より

(問)放送、インターネット、電話のトリプルサービスに加入している割合は?

→(宮崎社長・櫻井取締役)

バンドル率で言うと、1.77で、JCNグループ局の中では高い割合を保っている。ダブル、トリプルで加入いただくと、割引率も高くなり、弊社に対して親近感を持っていただいている。

谷委員より

(問)オプションチャンネル、有料チャンネルの加入割合は?

→(宮崎社長)

多チャンネルサービスに加入していただいている方は、24,000世帯で、30%に達しているが、その中のオプションチャンネルの利用者は少ない。

宮崎社長より委員へ

(問)弊社の多チャンネルサービスは、HD放送のチャンネルが増えてきているが、画質はいかがか?

→(谷委員)

254chはいいが、208chは良くない。TV自体によっても違うと思うが、デジアナ変換でしばらくアナログテレビを使えるから助かる。アパートなど持っている人にはいいと思う。

市川委員より

(問)今年7月24日にアナログ電波が停止するが、問い合わせは多いか?

→(櫻井取締役)

年末あたりから多くなってきている。例えばアンテナを立てればいいのか、ケーブルテレビがいいか、NTTのサービスがいいのかなど、どうしたらいいかわからない方が多い。弊社ではデジタルサポートメンバーを立ち上げ、説明しているがまだまだご理解いただくのが難しい。国策なので、営業的に「ケーブルテレビに」とは言えない。

→(谷委員)

スカイツリーが出来ると、電波の方向が変わる。このデジタル化は、加入を増やすチャンスかも。

谷委員より

(問)加入者は増えているのか

→(櫻井取締役)

加入者も増えているし、既存の加入者が別のサービスに加入していただけるので増加傾向にある。

→(土方委員)

いろんなところに取材に来てくれる。自分も先日ニュース映像で映ったが、「出ていたね」と言われた。良く観ている証拠だと思う。

荻原委員より

(問)先日ヤクルトファン感謝デーに行ったが、ぴーのがいると表示があった。参加したのか?

→(櫻井取締役)

その日は、午前中ヤクルト、午後ヴェルディと、ぴーのが大活躍した。このような球団との連携は力を入れてやっている。

宮崎社長より荻原委員へ

(問)「もしドラ」が売れて、日野が有名になりましたね？

→ (荻原委員)

先日、市議会定例会の記者会見でNHKの方が来ていたが、日野市役所でも「もしドラプロジェクトチーム」をつくらせて欲しいと、若手職員が手を挙げた。

谷委員より

(問) 日野自動車の日野からなくなると大変では？

→ (荻原委員)

確かに大変だが、工場を海外に移さなかったことが不思議なくらい。トップ企業は日本での生産を考えていない。海外では、仕事に対する目の色が日本人と違う。

→ (谷委員)

この間、ベトナムに行ってきたが、人々が生き生きしている。活気がある。戦後の日本のように。ちなみにハノイの人口は600万人。

→ (荻原委員)

頭脳まで海外に出て行ってしまうと、これから難くなる。街もどうなるかわからない。日野市内でも、多摩テック、東芝、日野自動車と撤退していく。50年、100年単位で考えないとならないと、市長が話されている。

→ (櫻井取締役)

日野は生活しやすい街。日野自動車の工場がなくなると、その工場だけでなく、部品会社などの関連会社もケアしなければならない。企業がなくなると市民個人税はどうなるのか。新しいものをやるとなると、街の有り様をそっくり考えないとならない。

→ (荻原委員)

八王子も「そごう」がなくなる。多摩平の土地も開発が遅れている。

→ (中嶋委員)

日本の技術はすごいだから、質の良い日本の技術、本当の力を見せる時だと思う。

以上